

彙	報
---	---

城西大学経済学会では、1965年以来、研究例会を行ってきたが、研究発表者及び論題は次の通りである。本号において、まとめて報告する次第である。

1965 年

- 長松 秀志 直接原価計算と原価の本質
井口 大介 古代のテレグラフ——電信以前のテレコミュニケーション
相沢 与一 産業革命期におけるイギリス炭鉱の労働関係
高橋 俊夫 経営経済学の生成基盤について
原 秀男 価値相対主義法哲学の思想的系譜

1966 年

- 中村雄次郎 クレディ・モビリエの短期社債について
井口 大介 国際マーケティング連合第2回アジア・太平洋地域会議について
原 秀男 政治ストの合法性・違法性をめぐる諸問題
長松 秀志 沖縄企業の実態について

1967 年

- 井口 大介 書信の成立について
長松 秀志 会計的測定と経営情報システム
原 秀男 大塚史学の方法についての批判的考察

1968 年

- 武市 春男 流通証券について
野沢孝之助 消費者金融におけるアド・オン方式について
渡辺 好章 パッケージングにみるマーケティング戦略
小林 毅 経済開発の必要性
森田 昌幸 東欧における社会主義国家の成立
青山 秀彦 日本における本源的蓄積期＝過程の諸問題
坂口 博 社会科学の方法についての一つの問題提起——経営学の立場から

- 桑田 勇三 債券の時価発行について
伊部 政一 ソビエツト経済の批判

1969 年

- 加藤 武信 ウィナーのサイバネテックスについて
福田 豊 経済学の方法——宇野理論をめぐって
松田 福松 Concerning Lincoln's Gettysberg Address in Japanese Translation
紫藤 貞昭 近代化学の成立と物質観
西勝 忠雄 Charles Pierce の論理思想